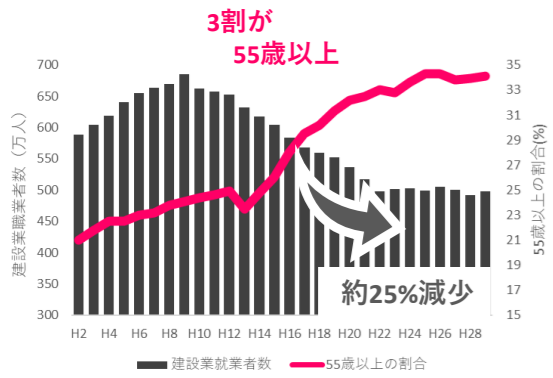


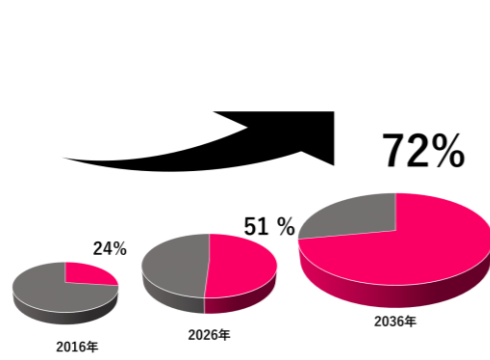
企業課題“都市の機能を支えるインフラメンテナンス業！”（スバル興業株式会社）に挑戦

■ 建設業界の課題

<人手不足が深刻化>



<50年経過橋梁の増加>



■ 原因

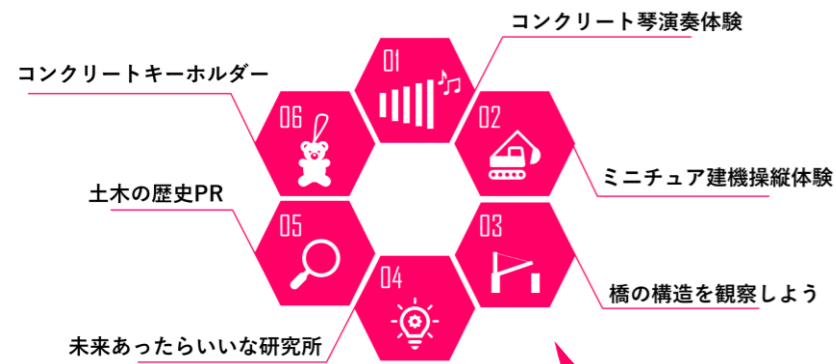
- ・3K（きつい・汚い・危険）のマイナスイメージ
- ・どんな仕事なのか知られていない

建設業界のイメージアップとPRが必要

第二回インフラテクコンアイデア

はしおし

「はしおし」は、様々な世代に建設業界やインフラメンテナンスに興味を持ってもらうために開催する市民向けの体験型イベントである。「はしおし」によって、インフラの維持管理の仕事を知ってもらい業務内容や重要性、やりがいを知ってもらい、将来、技術者になる人を増やしたい。



第2回インフラテクコンのアイデアをさらにブラッシュアップし8月21日と10月9日に国営越後丘陵公園で“はしおし”を開催

■ はしおし第1,2回開催の様子

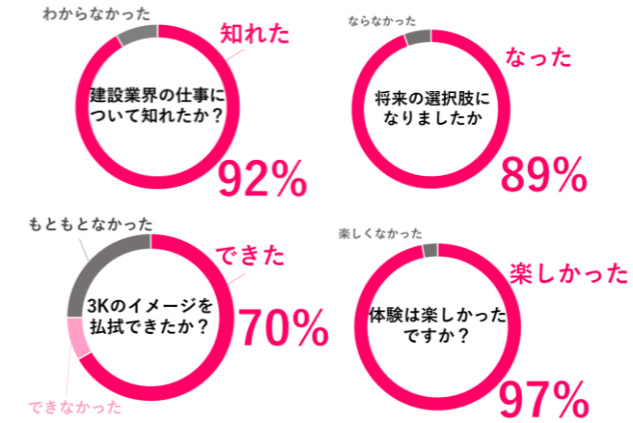
- ・参加人数は両イベント合わせ延べ1000人超
- ・合計18の企業・団体から協賛・後援していただいた
- ・運営スタッフは学科・学年関係なく多くの学生が参加



▶ はしおしを終えての感想

- ・子供たちには**楽しんでもらい**、保護者の方には建設業界の仕事について**知ってもらえた**
- ・**学生スタッフ**が運営に関わることで、**業界や仕事について知るきっかけ**にもなった
- ・大勢の人に体験してもらえたが、**ブースが少なく待ち時間が多くなってしまった**
- ・コンクリートに関連するブースが二つあったがそれぞれで**関連付けできなかった**
- ・せっかく協賛していただいた**企業**が多くあるのに、**ブースの内容と関連づけできなかった**
- ・もっと深いところを知ってもらうには**学生だけでは知識も経験もないため難しい**

▶ はしおし体験者アンケート結果



波及効果



上越総合技術高校の学園祭において建設業界の宣伝としてパンフレットの配布をしたいというお話をいただき、実際に配布してもらいました！

課題

- ・ブースの数と内容を充実させる
- ・継続&普及のためのノウハウ継承
- ・産学連携の強みを出す

はしおし！の提案内容

“はしおし”のパッケージ化

イベント開催、ブースの展開の方法をまとめ、パッケージ化することでBe-Miceのノウハウを引き継げるようにする。



他高専や高校でも企画・運営が容易になり、学園祭の出し物などでも運営が可能に！
 ▶ 学生がイベントの準備をすることで建設業界への知識が深まる

学生のアイデアと企業の知識やノウハウを活用・協力して新設ブースを展開



学生と企業の間でコミュニケーションが生まれ、学生は企業にも興味を持つ

既存（はしおし）ブース

建設機械・橋梁・コンクリート

新設ブース

学生・企業協力ブース

- ・アスファルトの排水実験（道路）
- ・ミニチュア発電体験（電力）
- ・消波ブロックの効果実験（防災・港湾）
- ・液状化現象体験（地震・防災）
- ・凝集沈殿実験（水環境）etc...

まとめ

パッケージ化でノウハウの継承・拡大

継続したPRで日本のインフラを守る技術者を生み出す！